

民権連通信

民主主義と人権を守る府民連合（民権連）

〒556-0024 大阪市浪速区塩草 2-2-31

TEL (06) 6568-2031 faX (06)6568-2047

語りの達人 木津川 計氏を迎えて～講演と文化のつどい～



9月5日午後、寝屋川市立いきいき文化センターにおいて「講演と文化のつどい」が開かれ約100名の参加で成功しました。はじめにつどい実行委員会の谷口正暁寝屋川市東部まちづくりの会代表が「この東部地域が希望あふれる素晴らしい地域へとさらに変貌をとげていく、そのことを願って企画しました」と挨拶を行いました。

最初のプログラムは、寝屋川市三曲協会のみなさんによる箏・三弦・尺八による演奏「民話 鉢かづき姫物語」「春の海」。美しい音色に「鉢かづき姫の話、きっちり聞けてよかった」「春の海も全曲を聞くのは初めてです」「心なごむひとときでした」との感想が寄せられました。

つづいて、語りの達人 木津川 計さんが語る「大往生か、ぽっくり死か 生きがいのこれから」の講演に入りました。木津川さんは、生きがいある人生を送るには、①健康、②経済的ゆとり、③時間的ゆとり、④人間的社会的つながり、⑤家族の支え合い、⑥張りのある日常をおくること（趣味、学習、スポーツ、ボランティア）、⑦常に自分の生命力を高めることを意識していることの7つを紹介され、そのためには、食（地元の新鮮なものを食べる）、心（わくわくドキドキする心）、気を強める（元気は気が元）、が大事であると話されました。年を取らない方法については、①月一回は百貨店に行く、②月に一回は封切られた映画を見る、③孫と住む、小さい子どもたちと遊ぶ、④ときめく心を失わない、趣味をもつことについては、趣味は①向上心を高める、②夢を膨らませる、③達成感の喜びを与える、④遊びの喜びを知る、⑤人生を楽しみながら生きるなどなど、ユーモアたっぷり、大阪弁のやわらかな語りに、参加者は、おおいにうなずき、笑い、魅了されました。

「大往生、ぽっくり死 それは日々充実して生活を送ることがすべてをクリアすると云われたことに素直にうなずけました」「木津川先生 絶好調、頑張りたいですね」などの感想が寄せられました。



この力で必ず止める戦争法案！ 安倍政権打倒！



「戦争法案廃案！安倍政権退陣！国会10万人・全国100万人行動」が繰り広げられた8月30日、大阪市北区の扇町公園には2万5千人が参加。9月に入ってから、府内各地で集会・宣伝・デモが連日繰り広げられています。13日にはSADLs KANSAI（自由と民主主義の学生緊急行動・関西）が西区鞆公園で「戦争法案に反対する大行動」を行い約2万人が御堂筋をデモ行進しました。

「部落問題解決と教育入門講座」開催

大阪教育文化センター「部落問題解決と教育」研究会は、7月茨木教組、8月門真教組、（3月には堺教文センター）で「部落問題解決と教育入門講座」を開催しました。そこで出された若い先生達の感想を紹介します。

- ★子どもの頃「同和教育」を熱心にされて、ずっともやもやしていた。大学でも教えられ、研修でも「同和教育」が教えられてきたが、今日の話ですっきりした。（堺）
- ★眼の前の子どもたちは中国にルーツがある子が20%近いという学校。その子達の課題に取り組まないで「部落問題学習」に熱心というのは何かおかしいと思っていました。すっきりしました。（門真）
- ★（研究会のパンフを使って）「学習経験を積むほど悲観的な意識が広がった」と府の調査に出ていますねと言ったら、講師はその資料は見てませんと逃げた。（茨木）
- ★要は憲法と自治の力を身につけさせるということですね。（堺）
- ★私は差別があるから教えなあかんと思って教えてきた。日弁連の行動宣言のように学校で取り組まなあかんのは権利の学習なんですね。（門真）

（以上 大阪教育文化センターだより NO.92 2015. 9.9 より一部を転載）

第11回地域人権問題全国研究集会 in 三重（伊勢）

10月24日（土）、25日（日）伊勢市観光文化会館大ホールにおいて第11回地域人権問題全国研究集会が開かれます。本研究集会は、「憲法を暮らしに活かし、住みよい地域社会に いつまでも住み続けられ平和で人間らしく 幸せに暮らせる地域社会実現のために」をテーマに、第一日目全体会は、記念講演と基調報告、現地報告、第二日目は「暮らしやすい地域づくり」をはじめに五つの分科会とエクスカッション伊勢神宮「おかげ横町」見学が行われます。参加費は4000円（2日目のみの参加は2000円）申し込みは三重県実行委員会（TEL0598-52-0670 FAX0598-52-0671）まで。

